

編集・発行：社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：木村裕士専務理事

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様がたに大変お世話になりました。昨年は何と言っても、3.11東日本大震災、原発事故、台風など日本列島が災害に覆れてしまった1年でした。しかし、復旧・復興はいまだ緒に就いたばかりと言わざるを得ません。全国民的課題として一刻も早く復興を軌道に乗せなければならないと思います。

経済もギリシャに端を発したヨーロッパの財政危機はソブリンリスクを高め、世界経済に深刻な影響を与え始めています。アフリカのジャスミン革命にみられる市民の行動による政権交代、アメリカの99%運動など格差や貧困への怒りが市民の直接行動として噴き出してきています。

我が国も政権交代後2年を経過しましたが、大震災があったとは言え、国民が期待した不安社会から安心社会への転換に向けた改革が進んでいると実感できるものではありません。しかし、すべてを政治の責任と言うだけでは、所詮お任せ民主主義です。連合は日本社会を覆う不安、閉塞感からの脱却に向けパラダイム転換を宣言し、「働くことを軸とする安心社会」構想を提起し、実現に向け行動を続けています。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、教育文化協会もパラダイム転換を求めて活動を強化したいと思っています。

教育文化協会が行っている教育・出版・文化事業の各分野で、すべての働く人々に寄与できる活動を充実して展開してまいります。若者への労働教育としての連合寄付講座は一橋大学、同志社大学、埼玉大学に加え、連合山形が中心となって開催する山形大学が加わります。連合運動を担う人材育成のRengoアカデミー・マスターコースは11年目を迎えました。また、連合「私の提言」募集、労働法講座（基礎コース）のほか、女性リーダー養成講座（基礎コース：全国2か所と応用コース）にも取り組みます。幅広く社会を考察するための書評活動も充実していきたいと考えています。

皆様がたのご指導ご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事長 岡部 謙治

—11月8日臨時総会で新役員体制を決定—

2011年9月8日、教育文化協会は第17回通常総会を開催し、2011～2012年度の理事および監事を選任しましたが、第12回連合定期大会(2011年10月4～5日)における役員人事により、新たに役員の選任が必要となりました。このため、2011年11月8日の臨時総会において、次の通り新役員を選任し、新たな役員体制を確認しました。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事長 岡部 謙治	理事 有野 正治	理事 種岡 成一	理事 秦野 幹夫
副理事長 南雲 弘行	理事 眞中 行雄	理事 渡辺 幸一	理事 若林 正人
専務理事 木村 裕士 (新任)	理事 中村 譲	理事 新田 豊作	理事 澤田陽太郎
常任理事 長谷川一博	理事 神津里季生	理事 秋山久美雄	監事 磯部 行雄 (新任)
理事 島田 尚信	理事 臼杵 博	理事 安久津正幸	監事 永芳 榮始
理事 徳永 秀昭	理事 加藤 友康	理事 堀江 湛	監事 藤澤 洋二
理事 西原浩一郎	理事 八野 正一	理事 高木 郁朗	

本臨時総会で次の役員が退任しました。在任中ひとかたならぬご厚情をいただき、心より感謝申し上げます。

(前)専務理事 山本 幸司

(前)監事 根本 良作

Rengoアカデミー・第11回マスターコース開講

Rengoアカデミー・第11回マスターコースが開講し、11月12～17日までの前期日程を24名が受講しました(うち女性8名)。

開講式では、主催者を代表して岡部謙治理事長が「マスターコースに参加する意義は、講座の習得や論文作成のみならず、他組織の仲間との活発な意見交換によって強い絆を作ることにある。忙しい中での受講になると思うが、ぜひともやり遂げてほしい」と挨拶しました。

続いて挨拶にたった古賀伸明Rengoアカデミー校長(連合会長)は「女性の受講生が増えていることを大変うれしく思う。ぜひこの機会に自分の棚卸をするとともに、体系的な知識を身につけてほしい。時間、空間、議論を共有することで得られるネットワークは今後の活動の糧となっていく」とエールを送りました。

さらに、今期より教務委員長に就任した中村圭介東京大学教授からは「一流の講師陣を揃えたことを約束する。修了後に少しでも“自分は変わった”と思えるよう、頑張してほしい」とのメッセージが送られました。

前期日程を終えた受講生は今後、必修ゼミ、後期合宿(2012年4月14～17日、5月9～11日)に参加した後、1年間の集大成である修了論文の提出を経て、9月に修了式を迎えます。



受講生のみなさん

第11回マスターコース・前期プログラム

(役職は当時)

講義日	科 目	講 師 名
2011年 11. 12 (土)	「ニュー連合の役割・行動Ⅰ」	古賀伸明 連合会長 中村圭介 東京大学教授
11. 13 (日)	「労働運動の歴史」 「アサーティブ・トレーニング」	高木郁朗 Rengoアカデミー副校長 ILEC理事 竹崎かずみ アサーティブジャパン専属講師
11. 14 (月)	「現代日本経済論」 「労働法の基礎」	宮崎 徹 早稲田大学講師 青野 覚 明治大学教授
11. 15 (火)	「労働組合の情勢分析の方法」 「ジェンダー論入門」 「国際労働運動入門」	鈴木不二一 同志社大学ITECアシスタントディレクター 金井 郁 埼玉大学准教授 中嶋 滋 日本ILO協議会専務理事
11. 16 (水)	「人材活用と人事管理の課題」 「労働者自主福祉」	橋元秀一 國學院大学教授 高橋 均 中央労協事務局長 白井陽一 労金協会営業統括部次長 高橋忠雄 全労済事業推進部長 他
11. 17 (木)	「組合経営」 「論文のまとめ方」 「現代経済・社会論」	江森孝至 フード連合会長 他 高木郁朗 Rengoアカデミー副校長 ILEC理事 井上定彦 島根県立大学教授



岡部謙治・教育文化協会理事長



古賀伸明・Rengoアカデミー校長



中村圭介・Rengoアカデミー教務委員長



熱心にグループワークを行う受講生



グループワークの成果を発表する受講生



受講生を代表して決意表明する内田敬子さん(日教組)

講義は、「ニュー連合の役割・行動Ⅰ」を皮切りに上記のプログラムで進められました。各講義ではゼミ毎のグループワークを組み入れながら、全体で活発な意見交換を行いました。

また、3回のゼミナール(夕食後開催)では、修了論文作成に向け議論を重ね、各自の問題意識を深めました。

第6回「労働法講座(基礎コース)」を開催

2011年10月21日(金)～22日(土)、連合会議室において連合総合労働局と共催で第6回「労働法講座(基礎コース)」を開催しました。当日は、連合構成組織・地方連合会などから過去最多の72名が参加し、ほぼ満員状態のなか、熱心に受講しました。



講義I:野川忍明治大学法科大学院教授

①労働法の必要性・役割と全体像、②労働基準法および労働契約法等について、身振り手振りを交えて熱い講義を頂きました。

講義II:森戸英幸上智大学法学部教授

①労働組合法や労働紛争解決システム等、②男女雇用機会均等法および育児・介護休業法等について、ユーモアを交え分かりやすい講義を展開されました。



新谷信幸・連合総合労働局長より、連合の雇用・労働政策の課題と展望について、全体的なお話を頂きました。

田島恵一・連合中央アドバイザーからは、長く労働相談に携わってきたご自身の経験を基に、労働法を活用していかに労働者を守っていくかについてお話を頂きました。



♪受講者アンケートから♪

- ◇労働関係法規の体系・意図を分かりやすく説明して頂き、理解が進んだ。
- ◇組合役員としてこうした基礎的な知識は必須である。来年、別の担当者を参加させたい。
- ◇連合が何をしているのか、法律にどうやって私たちの意見が反映されていくのかが分かった。
- ◇法が存在するだけでは無意味であり、それを守らせる労働組合の役割・存在の重要性を再認識した。

「第15期女性リーダー養成講座(基礎コース)」を仙台で開催

2011年12月2日(金)～3日(土)に、仙台市において、連合総合男女平等局と共催で「第15期女性リーダー養成講座(基礎コース)」を開催しました。会員組織、地方連合会より25名が参加。実践的な発言力や企画力を身につけるため、経験交流やトレーニング、グループワークを行いました。今回は、より多くの参加者を受け入れるため、福岡でも1月20日(金)～21日(土)に開催いたします。

また、5月25日(金)～26日(土)には応用コースを開催予定です。



開催地を代表して連合宮城の山崎透会長よりご挨拶をいただきました。



連合中央執行委員の塩谷恵理さん(損保労連)からは、単組での取り組みを中心としたご自身の組合活動経験を語っていただきました。

アサーティブジャパンの牛島のり子事務局長より、ロールプレイを交え、コミュニケーションスキルをアップするトレーニングをしていただきました。



「女性役員を増やすために」をテーマにグループワークを行い、それぞれ発表しました。



2011年度後期埼玉大学連合寄付講座

「働くということと労働組合」開催中

2011年10月3日(月)より、埼玉大学において、連合寄付講座が開講中です(1月30日まで)。聴講ご希望の方は、ILECホームページよりお申し込みください。

URL: <http://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/saitama/>

(写真は講義風景)



ILECメールマガジンの配信について

教育文化協会の事業を広く知っていただくために、メールマガジンを配信しています。配信内容は、主催事業の告知、「書評」、「私の提言」、マスターコース修了論文集、連合寄付講座講義録掲載のお知らせなどです。配信を希望される方は、教育文化協会のホームページより、メールアドレスが登録できますので、是非ご登録下さい。

URL: <http://www.rengo-ilec.or.jp/mailmag/>

退任・新任役員からのごあいさつ

- 大きな時代のうねりと労働運動側の世代交代の只中、退任し改めて痛感していることは、教育文化協会に課した先輩たちの戦略的方針「労働者教育及び教育文化活動の振興を通じて、広く勤労者の生涯にわたる学習文化活動を支援すると共に社会構造の変化や時代の要請に応えられる人材の育成を図り…」の正しさとその実現の死活的な重要性です。4年間の在職期間中、みなさまには大変お世話になりました。有難うございました。
(山本 幸司 前専務理事)
- このたびのILEC総会をもちまして、監事を退任いたしました。この4年間、岡部理事長はじめ、皆様方の格別のご指導とご鞭撻により、職責を全うすることができました。改めて厚く御礼申し上げます。なお、引き続き(公財)日本労働文化財団に携わることになりましたので、当財団ともども今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ILECの益々のご発展をお祈り申し上げ、退任のご挨拶といたします。
(根本 良作 前監事)
- 連合副事務局長の兼務ですが、前任の山本前副事務局長の後を引き継ぎ、専務理事に選任されました。連合が提起する「働くことを軸とする安心社会」、連合第3次組織財政確立検討委員会の答申においても、労働運動の担い手育成、労働文化の醸成の重要性が指摘されています。教育文化協会への期待も大きく、いささか身に余る重責ではありますが、岡部理事長の下、役職員全員が一丸となって取り組んでいけるよう、微力を尽くす所存です。
(木村 裕士 専務理事)
- 連合運動を担う人材育成は急務であり、連合本部においても、連合を支える役職員のレベルアップとともに、政府や関係団体および地方連合会からも優秀な人材の派遣が求められています。教育文化協会は、Rengoアカデミーに代表されるように労働組合のリーダー養成に大きな役割を担っていると思います。今後の前進に期待します。
(磯部 行雄 監事)

編集後記

今年は、辰年。「登り龍」のように皆様の運気が上がりますように！

ILEC事務所も運気を取り入れられるように、昨年までの「曇り扉」から「半透明扉」にいたしました。どうぞ、皆さま運気を運んで下さい。お待ちしております。

(富士山)